



# 阿南高専便り



総合文化祭優秀賞 5C 関風香さん「見渡す限りの」

## CONTENTS

- |    |  |    |   |
|----|--|----|---|
| 2  | 校長からのメッセージ                                 | 11 | 第14回 全国高等専門学校デザインコンペティション<br>(デザコン2017 in 清流の国ぎふ) |
| 3  | 別れの言葉                                      |    | 四国移動型 & 自律型ロボットトーナメント2017<br>(SMART2017) の開催      |
| 4  | 卒業を祝う                                      | 12 | 人権教育便り  |
|    | ・機械コース                                     |    | 阿南市「人権啓発標語・ポスター及び人権作文」の紹介                         |
|    | ・電気コース                                     | 13 | 第39回 四国地区高等専門学校総合文化祭                              |
|    | ・情報コース                                     |    | 第12回 蒼阿祭  |
|    | ・建設コース                                     | 14 | 図書館便り   |
| 8  | 修了を祝う                                      | 16 | 各種大会報告  |
|    | ・専攻科                                       |    | 編集後記  |
| 9  | 海外インターンシップ感想<br>台湾研修旅行について                 |    |   |
| 10 | 高専ロボコン2017 四国地区大会出場報告<br>第28回 プログラミングコンテスト |    |   |

# 時代の節目

校長 寺 沢 計 二

今年で平成も30年。

天皇陛下のご退位にともないこの平成という元号もあと1年あまりとなった。30年といえばおおむね一世代。そして今年は明治維新150年に当たることもあって、新聞等で「時代の節目」についての論評を目にする機会も多い。

卒業生、修了生をはじめ学生諸君にとってはあまりピンと来ないかもしれないが、平成が始まった1989年はまさに時代を画する出来事があった年だった。

年初に昭和天皇が崩御され、昭和から平成に。この年、米ソ冷戦の終結の象徴とも言えるベルリンの壁が崩壊。中国で天安門事件が起きたのもこの年。そしてバブル崩壊のターニングポイントとなった日経平均株価最高値38,915円で平成元年が暮れた。

技術やものづくり観点から見てみると、ノートパソコンのさきがけとなったNECの98ノートが発売され、手のひらサイズの携帯電話、モトローラ社のマイクロタックが登場したのもこの年。その後ノートパソコンや携帯電話、そしてスマホが当たり前の時代へと移っていった。

政治経済にしろ、技術にしろ、その後の世界が、日本がどう動きどう変わっていったか。今となってはすべてが当たり前だが、当時、その後に起きた劇的な変化は到底想像もつかないものだった。そんな平成のスタート当時に起きていたことを思い起こしてみることが、単にノスタルジアに浸るだけでなく、今この「時代の節目」に立って、これからの学生諸君の未来を考える上で、時の流れのスケールというものを感じさせてくれるに違いない。

今や人工知能（AI）はまさに時代を画する技術として一気に注目を集め始めている。AIスピーカーに話し掛けると何でも応えてくれて、好みの音楽、天気予報、果ては今晚のおかずのメニューまで。自動車の自動運転もかなり現実味を帯びて、あの祖谷の山奥で無人タクシーが走り始めるのもそう遠くなさそうな勢いだ。

そんな中、阿南高専で学んだ学生諸君の将来はどうなっていくのか。何でも分からないことはスマホで検索すれば簡単に知ることが出来るようになった今、すでに知識の量や質だけでは人工知能に到底太刀打ちできない。人間ならではの感性や価値観、そして時には不合理や矛盾を前に苦悩しながらも解決策を見出し決断する度量の深さなど、予めプログラミングのしようがない、言葉を換えれば答えのない世界で結果を出していける技術者がこれからの世界ではますます重要になってくる筈だ。

しかし、そのためにはひとりの技術者である前に、物事の道理の基礎を押さえ、人間の機微をしっかりと感じ取り、人の共感を得る力を身につけた者でなければならない。その意味でこれからの若者は本当に大変だ。グローバルが進むこの世の中で、何が正しいのか、決して百点満点はないし、むしろ百点満点を望めるようなものは人工知能に任せれば十分だ。

30年後の自分は？

この機会に一度大きなスケールで想いを巡らせて、今の自分を見つめ直してみてもはどうだろうか。

平成3年4月に本校教員として着任して勤務年数27年が過ぎ、このたび4月より都城工業高等専門学校の校長として赴任することになりました。長年にわたり保護者の皆様、本校を応援して頂きました地域と多くの後援組織の皆様、そして校長先生をはじめ教職員の皆様には大変お世話になりました。

27年前、学科改組により機械工学科2クラスのうち1クラスを制御情報工学科として発足したことに伴い、制御情報工学科担当の教員として採用されました。それから27年後の平成26年4月からの学科改組である1学科である創造技術工学科の完成年度である平成30年3月に本校を去ることになります。まさに制御情報工学科の誕生から消滅までを過ごした阿南高専の教員生活となるわけです。

授業では制御情報工学科、情報コースと専攻科の情報と制御に関する科目を受け持ちました。学校公務としては、主なものとして制御情報工学科主任、学生主事、教務主事、

そして副校長を歴任いたしました。とくに平成20年4月からの希望学科再選択制度と阿南高専の制服の選定、平成26年4月からは前述した化学コースを新設し5コース1学科である創造技術工学科の学科改組に係わってきたことには深い思いがあります。クラブ顧問としては女子バレー部創部から、長く部員が集まらず弱小チームであった時期を経て、初めての全国大会出場を果たし北海道旭川市に引率できたことは大きな喜びでありました。

本校を去るにあたり、27年間多くの学生と教職員、そして保護者と知り合う機会を得られたことは私にとりまして大きな財産であります。今後は同じ高専の仲間として、また切磋琢磨するライバルとして共にKOSENを盛上げて参る所存であります。最後になりましたが、改めて阿南高専に係わるすべての方々に感謝を申し上げ「別れの言葉」といたします。

平成27年7月に着任してから、とうとう3年の任期を迎えました。民間企業で過ごした33年間に較べると、非常に短い期間でしたが、学生や教職員の皆様に支えられて、私なりに非常に意義深い時間を過ごすことが出来ました。本当にありがとうございました。

しかしながら、なにぶん教育関係の仕事は初めての経験で、自分が学生だった頃の先生方の苦勞が身に染みてわかりました。また、学生の皆さんに自分の出来たこと、出来なかったことが十分に伝えられなかった事を思うと、非常に残念な気持ちで一杯です。

阿南高専を退職するに当たり、教員として、そして阿南高専OBとして学生の皆さんにお願いがあります。それは、「もっと勉強しましょう。」という事です。私の人生を振り返ると、いつも、高専時代もう少し勉強してればよかったなあとの思いに付きます。大学に入った時、就職した時、仕事環境が変わった時等々、常に思います。頭の柔らかい十代に色々な知識を吸収し、様々な体験を積んでおくのが一番大切です。

ビジネスの世界でよく使われる例え話に「茹で蛙」とか「最も強いものが生き残るのではない。最も変化に強いものが生き残るのである。」等々があります。実際、昔と違って、

社会情勢の変化のスピードが非常に速くなっています。大企業と言えども安穩としていられる時代ではありません。私が就職した2つの企業も、昔からの名門企業とか一部上場企業とかいわれていましたが、それらは現在は入社当時の業態を維持していません。社会の変化についていけない企業は皆無くなっていきます。社会の変化、それが会社の変化に繋がってきます。阿南高専の就職状況は非常に良好ですが、これとていつ大きく変化するか分かりません。

社会の急激な変化についていく為には、しっかりと勉強することと、人格を磨くことを意識して、学生生活を送って下さい。今の学生の皆さんは、私が学生の頃に比べれば、非常に恵まれていると思います。就職にしろ、進学にしろ自分の努力次第で、色々な可能性が見えてきます。スマホをいじるなどして無為に過ごすことのない様な、充実した生活を過ごしてほしいと思います。企業が望むのは、優秀で向上心のある学生です。

以上、お説教めいたOBからの話になりましたが、頭の片隅にでも留めてもらえればありがたいです。

最後に、皆様の健康と発展を祈念いたしまして別れの挨拶としたいと思います。

平成27年に阿南高専に着任し、約3年が経ちましたが、今年度をもって阿南高専を退職し、三重県の鈴鹿高専へ異動することが決まったため、ここにお別れの挨拶をさせていただきます。この3年間、母校での教員ということもあり、特別な思いを持って指導に取り組んできました。必ずしも教員らしい姿が見せられていたわけでは無いと思いますが、学生一人一人が活躍できる環境作りを一番と考え、授業や部活動に関わってきたつもりです。阿南高専では、学校行事や課外活動がたくさんあり恵まれた環境にあります。これは、全ての教職員が学生により成長してほしいと願って取り組んでいる結果です。学生の皆さんには、それを上手く自分の成長のために利用してほしいと思います。どれだけ素晴らしい舞台が用意されていても、どれだけ高い能力を持っていても、舞台に立つ勇気がなければ、それらは何も無いのと同じです。目の前のチャンスを逃さず、何にでも挑戦してこそ高専生だと思います。皆さんの益々の活躍を期待しています。





秋の体育大会総合優勝

## 贈る言葉

### 継続は力なり

機械コース 主任 原 野 智 哉

ご卒業おめでとうございます。5年間、みなさんが自ら勉学・部活動・インターンシップなど多様な経験を積み、頑張りを継続した結果卒業を迎えられたと思います。さて、第4次産業革命としてAIやIoTなどの技術が様々な専門分野とリンクして新たな価値観が創造されつつあります。このような激動の時代、瞬間的な能力を発揮して、一世風靡しても時代の移り変わりがとても早く、物事がすぐに陳腐化してしまいます。そのため、つねに自分を新鮮に保ち、挑戦する気持ちを忘れず+αの仕事を積み上げる努力を継続していく必要があります。毎日の繰り返しの中で、+αを加えて行くことにより、『ちりも積もれば』ではないですが、大きく前進し自分も成長できると思います。そのためには、自己啓発により勉強などする必要もあるでしょう。一方で、ライフワークバランスや働き方改革などが言われるようになり、より一層仕事の効率化を、所属する組織だけでなく自己努力でも達成していく必要があります。大変な時代に巣立つ君たち、『人生と仕事のバランスを保ちつつ』継続して力を発揮できるよう頑張ってください。

### 思ったら即行動。走りながら考えよう！

機械コース 5M担任 多 田 博 夫

ご卒業おめでとうございます。

久々の担任が君たちで良かった。優秀なクラスと聞いていたが、本当にその通りだった。

君たちは、くよくよと考えない。特に進路選択のときの即断即決。それは、走りながら考え、答えに向かって突き進むことが出来る行動力によるものだ。

ともすれば、経験の少ない者ほど行動する前に意味や答えを求め、結局は最後まで悩んでばかりで、行動できない。信頼できる情報を選択できず、懐疑的になって受け止められない。

君たちは学力も優秀だったが、その行動力をこそ賞したい。それが、君たちの根源であったことを忘れないで欲しい。

君たちは、これから新しい場所に一人で入り、その組織の一員として生きてゆく。願わくは、「君が居て良かった」と上司、同僚から思われる人間で居てほしい。私は、君たちの担任で本当に良かった。



工場見学旅行(3M時)

## 5年生の言葉

### ■機械工学科

1年担任 田上隆徳、山田耕太郎、中島 一、谷中俊裕  
2年担任 西 森 康 人 3年担任 安 田 武 司  
4年担任 西 本 浩 司 5年担任 多 田 博 夫

### ■5年間

池 翔 平

淡路島から不安を抱えながら徳島に来た1年生。はじめは友達0からスタートし、今では多くのかげえのない友人がいる。それも寮生活があってこそだと思える。入学して1日目にはいきなり寮の指導寮生から洗礼を受け圧倒された日から早5年。今では自分がその立場にいると思うと、時間がたつのはとても速い。この5年間で自分を成長させてくれた寮や学校、友人に、そして阿南高専に送り出してくれた親に感謝したい。

### ■そこにいた

小 原 涼 香

当たり前だった。放課後の部室の匂い。腹も減らんと何気なく向かうヤマザキショップ。自分を知たくて小説を漁った図書館棟。午前7時57分に南へ発車する羽ノ浦駅の朝。90分にわたる授業。覚えのない機械実習。すべてが私を縛るものとなっていった。しかし、今それは私を許すように、愛するように、そこに横たわり手を振っているのだった。彼らをもっと愛せただろうかと考えたが、それも虚しく、ただ笑みが溢れてくる。

### ■後輩たち、ありがとう

西 條 風 秋

私の学生生活は部活のバレーボールとともにありました。時間が経つのはとても早く、気づけば最高学年になり、20人以上の部員の主将になっていました。後輩たちが日々成長する姿を見て、自分も頑張ろうと思うことができました。いつもサポートしてくれる4人の可愛いマネージャー、頼りになる後輩たち、5年間、切磋琢磨した同級生。5年間、最高の仲間とバレーボールができたことを心から嬉しく思います。

### ■野球

清 水 祐 弥

いちばん力を入れたのは野球です。1年秋からエースに抜擢されたのですが、2年の春に調子をくずしてしまい、そこから何をしてもうまくいかない苦しい日々が続きました。途中、エースも外され大きな挫折も味わいました。それでも、周りの支えもあり、諦めず練習に励み、高校最後の大会では、鳴門渦潮高校相手に負けはしましたが、延長再試合という記憶に残る試合となり、成長した姿を見せることができました。

### ■我高専人生一片の悔いなし

谷 口 道 成

素晴らしい人に出会った。友になった。それだけで十分だ。さまざまな経験をし、失敗をし、人として大きくなったかは分からないが、楽しかった。悩み、悔み、折れそうになった日々。それを乗り越えた時、これが人の在るべき形ではないかと考えた若き私。そういう日々が5年も続いたが、それも終わる。もう一度、学生でいたいなどとは思わない。人として、何か道を成功させるために私は前へ前へ進んでいく。

### ■軽音楽部

溝 添 雄 大

高専入学後、迷うことなく軽音楽部へ入部した。正直、軽音楽をするために阿南高専に通っていたと言える。先輩、同級生、後輩、顧問の先生など、お世話になった人の名前を上げるとキリがない。自分の技術の上達はもちろんだが、人間的にも大きく成長できた場所だ。軽音楽部で過ごした日々、仲間と作り上げたもの、思い出は一生の宝物だ。本当にありがとう。



## 贈る言葉

### 可能性は∞

電気コース 主任 松本 高志

ご卒業おめでとうございます。就職する人も進学する人も4月から新たな出発です。これから皆さんが活躍しようとしている社会は大きな変革期にあります。IoT、ビッグデータ、AI、ロボットなどの「第4次産業革命」の最新技術を駆使して、サイバー空間とフィジカル空間を融合させたSociety 5.0と呼ばれる「超スマート社会」が目の前にやってきました。このような先端技術があらゆる産業や社会生活に取り入れられるには皆さんの活躍が不可欠です。そんな技術を自分が扱えるのか、と不安に思うかもしれませんが、皆さんの可能性は∞です。フォード・モーター創業者、ヘンリー・フォードは「どんな人間も、自分が思っている以上のことができる。」と言っています。自分を信じて努力して前へ進んでください。将来、皆さんの活躍ぶりを聞かせてもらえることを楽しみにしています。

### 君を待ち構えているのは、 幾多の立派な仕事である

電気コース 5E担任 中村 厚信

卒業生みなさん、また保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。就職する人も進学する人も、4月からまた新しい環境で、新たな経験を積んでいくことになります。何事にも臆することなく、自信を持って積極的にチャレンジしてください。最近、年令を重ねていくと人生の短さについて考えることがあります。人生とは何を目標にどのような時を過ごしていくかであると思います。目の前の仕事をスケジュール帖に書き写すだけで日々を送るのでは、何も進歩はありません。10年後、20年後、30年後…の自分はどうかあるべきかを考え、それに向けて着実に努力を重ねていってください。皆さんには、幾多の立派な仕事があります。皆さんの実り多い未来を信じています。



卒研室



発表風景

## 5年生の言葉

### ■電気電子工学科

1年担任 田上隆徳、山田耕太郎、中島 一、谷中俊裕  
2年担任 櫛田 雅弘 3年担任 西尾 峰之  
4年担任 藤原 健志 5年担任 中村 厚信

### ■目標

池下 大翔

県総体で団体優勝。私が目標にして部活に取り組んでいたことです。1年生から3年生まで3回出場し、最後に達成することができました。3年次には主将を任されていたため、これまでの自身の失敗を反省しながら、練習方法を検討しました。他の部員も必死に取り組んできたため、優勝という結果がついたのだと思います。目標を持つことはこれからの人生にも必要になるので、別のことに挑戦していきたいと思います。

### ■十人十色

内田 篤

5年間はあっという間だった。慕ってきた先輩方も卒業し、次は自分の番かと思うと卒業生は毎年同じことを考えているんだろうなと考える。このクラスで起こった出来事は忘れることはない。一人一人が異なった価値観や考え方をもち衝突することもあったが、それを乗り越えて成し遂げた結果は何事よりも勝る経験だろう。高専で過ごした5年間の思い出を胸に新たな環境で、更なる活躍ができるように努めていきたいと思う。

### ■10年間の集大成

岡 希美

小学生で始めたバスケ。一番下手くそだった私が、気付けばキャプテンをしていた。不安や焦りの中で、今までの先輩たちがどれほどすごかったのか再認識した。同時に、未熟な自分を支えてくれた先生、コーチ、親、そして大好きな後輩たちに感謝した。たくさんの人に会って、泣いて、笑って、学んだ。人生の半分を捧げたバスケも一旦お休み。けど、このままじゃ終わらんよ！またいつか、一緒にプレーしようね！

### ■小さい理由から

松永 優実

小学生の時に見たイルミネーションが綺麗でLEDに興味を持ったという理由で入学した阿南高専。慣れない寮生活、膨大なレポート、苦手な科目など悪戦苦闘した。しかし、多くの人に支えられ、楽しいこともたくさんあった。蒼阿祭の執行委員や留学など様々な体験もできた。春からは電子材料に興味があり、より深く学びたいという理由で大学に進学する。今まで以上に困難なことがあると思う。臆せず、前へ前へ進んでいきたい。

### ■すべてを糧に

吉田 遥香

私はこの5年間で様々なことを経験しました。蒼阿祭執行部・役員寮生など、とても濃い毎日を過ごすことができたと感じています。そういった経験から、コミュニケーション能力・説明力など、たくさんの授業では学べないことを知り、身につけることができました。受けたことを後悔した時もありました。しかし、やっていく中でやりがいを見つけ、最後までやり切ることができました。社会に出ても様々なことにチャレンジしていきます。

### ■忘れたくない日々

吉野 ひかり

あっという間の5年間だった。4年間同じクラスを共にした仲間。蒼阿祭、体育大会、創造工学、実習、いろんなことをみんなでやってきたけど、全部とても楽しかった。それは、減ったり増えたりしたけど、今のクラスでの37人がいたからだ。この日々がずっと続けばいいのにとずっと思っている。この楽しい日々を心に秘めて、これから社会に出てがんばっていききたい。この高専での5年間は私は一生忘れない。



## 贈る言葉

### 異次元の起業家

情報コース 主任 杉 野 隆三郎

諸君は、イーロンマスクという起業家を知っているだろうか。

彼は、南アフリカ共和国出身の元 IT 技術者で、現在はテスラモーターズとスペースX社のCEOであり、太陽光発電のソーラーシティ社の会長職についている。10歳のときにコンピュータを買い、プログラミングを独学し、12歳のときにソフトウェアを販売するという根っからのアントレプレナーである。彼の「野望」は、次の2つに尽きる。

1. 地球環境を守る新エネルギーを開発
2. 人類の新しい住処となる火星への移住

この2つの野望を実現するために、日々革新的なビジネスを実行している。彼は、可能性を実現するのに最も近い国を米国と定め、カナダのトロントに移住した後、米国のペンシルバニア大学に編入することになる。その後、高エネルギーを研究するためにスタンフォード大学の大学院に入学するもわずか2日で退学、友人たちとITベンチャーを企業することになる。自ら興したIT企業でオンラインシステムを手掛け、最終的にはセキュアなオンライン決済システムを開発、PayPal社を企業し、巨万の富を得たイーロンは、ここで初心の2つの野望に向けて奮進することになる。すなわち、テスラ社による誰でも購入できるEVスポーツカーの製造販売、スペースX社による自動帰還するロケットシステムの開発とNASAへの貢献である。

こんな破天荒の技術者（起業家）であるイーロンはいくつもの珠玉の名言を放っているが、これから社会に出る20歳の諸君に特に紹介したいのは次の言葉だ。「起業家は粘り強く、毎週80から100時間地獄のように働くべきです。これは、成功確率を上げるのに必要なことです。」働き方改革に席卷されている現代日本において驚くべき suggestion である。しかし、統計学的に言うとこれは正しい。同じパフォーマンスを持つ2人の人間がいるとして、働く時間が多い方が成功確率を上げるのである。

イーロンマスクは天才である。天才と同じことは、我々凡人にはできないことも承知している。だがしかし、これから未来に生きていく諸君らにあえて言おう、'Boys, be ambitious, and work hard at your jobs!'これが私の送る言葉である。

### ラスト制御情報

情報コース 5S担任 福田 耕 治

私は、制御情報工学科の第1期生が2年生のとき阿南高専に着任し、そして今回制御情報工学科最後のクラス担任として皆さんを送り出すことになりました。制御情報として最後のクラスメンバーである皆さんに対して言いたいことは、「良いクラスでした。」ということです。

担任として様々な役割を担ってもらった学生を考えるのに苦労しましたが、担当してもらった役割に対して個々の学生が責任感を持ってその役割を果たそうとしてくれる、この点だけでも非常に良いクラスであり、誇りに思っています。

皆さんは、これから多くの人と出会い様々な関係を構築し乗り切っていくことになるでしょうが、うまくいかない時もあるかも知れません。そんなとき、阿南高専やクラスメイトのことを思い出して、仲間と一緒に現状の課題に立ち向かう方法を模索し、解決していく力をつけてほしいと思うのです。多くの仕事では、良いグループ・仲間をつくるのが非常に重要です。良いクラスを形成できた皆さんの活躍を期待しています。



## 5年生の言葉

### ■制御情報工学科

1年担任 田上隆徳、山田耕太郎、中島 一、谷中俊裕  
2年担任 城 本 春 佳 3年担任 一ノ瀬元喜  
4年担任 福 田 耕 治 5年担任 福 田 耕 治

### ■駆け抜けた日々

市 原 大 和

いつの間にか月日は経ち、もう卒業生。高専へ入学したのがつい昨日のこのように感じられるほど、あっという間だった。たった5年間、されど5年間。寮で寝食を共にした仲間との思い出、変わらぬクラスメイト達との日々、迷惑をかけた先生方。卒業すれば二度と話す機会のない人もいるかもしれない。いや、大半の人とそうなるのだろう。それでも、この5年間の大切な思い出は、駆け抜けた日々への褒賞であると私は思っている。

### ■アディショナルタイム突入

下 川 敦 也

高専入学当時は、勉強面でも部活面でも5年もあればそれなりに力がつくものだと思っていた。しかし、いざ高専での5年間が終わり、卒業を目前にした自分をよく見つめてみると、想像していた程には成長できていないように思う。だが、そんな自分でもこのことだけには気が付き、教訓となったことがある。それは「いくら時間があっても意欲なければ成長できない」ということだ。専攻科での2年間はのっけから本気でいこうと思う。

### ■知られざるプロコン部にて

宮 川 大 樹

皆さんはプロコン部をご存じか。ロボコンに比べパツとしないのは確かだが、私にとっては思い出深い場所だ。3年から5年までプロコン本戦に参加し、そのためのシステムを開発した経験は大きな糧となっている。中でも、昨年にチームリーダーとしてシステムを作ったことは苦さも含みつつずっと記憶に残るだろう。そんな私の成長と共にあったプロコンが来年度で開催されるという。当事者になれず残念だが、後輩を精一杯応援したい。

### ■役員寮生を経て

岡 愛 梨

地元を離れ高専に入学して5年が経ち、振り返ればたくさんの経験をした。その中で一番印象に残っているのは役員寮生だ。入ったすぐは正直なぜここに来たのだろうと思っていたが、日が経つにつれて前に立つ先輩が私の憧れになっていた。役員寮生を経験して出会いがあり、上に立つことの難しさも学び、たくさんの壁にぶつかったがいろんな人に助けられ、私はすごく成長したと思う。この経験を活かして周りに感謝しながら、日々精進していきます。

### ■夢を叶え続ける

百 々 可 紗

5年前、ここで夢を叶えたいという想いで阿南高専に入学した。そして今、確実にその夢に近づくことができた。「夢を諦めず、常に追いかけて夢を叶え続ける」という先生の教えがあったから今があるのだと思う。そして、友達、先輩、後輩が与えてくれた様々な経験とかけがえのない思い出が私を支え、成長させてくれた。本当にみんなにありがとうでいっぱい。また新しい季節が始まるが、ここで得たものを糧に夢を叶えたい。

### ■戯言が現実に

林 一 帆

「学祭でアニクラをやってみよう」。最初は冗談の混じった他愛もない話でした。この頃の僕はまだ2年生で、当時はアニクラに遊びに行くだけの客でした。しかし3年生になると蒼阿祭でアニクラをすることが決まり、それから早くも2年が経ちました。蒼阿祭にアニクラという新しい文化を築き上げてここまで続けてきたことを誇りに思います。そして一緒に作り上げてきた仲間たちには感謝してもしきれません。本当にありがとう。



4年 本川発電所見学

## 贈る言葉

### 前向きに行動しよう。

建設コース 主任 笹田 修司

卒業を迎えられた皆さん、ご卒業おめでとうございます。さて、4月から新しい生活が始まりますね。今まで生活してきた環境から新しい環境に移るわけですね。もしかすると新しい人間関係や仕事や勉強を辛く感じる時もあるかもしれません。でも、さらに時がたてば、その多くの事は、たわいもない事と気付かれることでしょう。皆さん自身の夢や目標を実現することを優先してください。そのためには、常に学び、考え、前向きに行動することを心がけてください。たとえ失敗しても、自分の夢や目標に向かって前進して下さい。本校での出会いや仲間、学んだことを糧にこれからもご活躍を期待しています。それでは、いつか、また会いましょう。お元気で。

### 迷ったら前進

建設コース 5C担任 森山 卓郎

ご卒業おめでとうございます。私が小学校を卒業したときですが、6年生のときの担任の先生から贈られた言葉に、「迷ったら前進」というものがありました。どうしようか迷ったら、逃げたりせずに積極的に前へ進む行動をしようということです。私もこれまでに何度かあった運命の分かれ道みたいなときには、その言葉を思い出しました。状況によっては、前に進むことを断念しなければならないときもあると思います。でも、選択できる場合には、逃げたりせずに、総合的に考えて自分が成長できるほうの道を前へ前へと進んでください。進んでからは、これでよかったと後で言えるように努力し続けてください。私も担任として、最後にこの言葉を贈ります。



3年 体育大会



5年 国交省施設見学（ドローンから撮影）

## 5年生の言葉

### ■建設システム工学科

1年担任 田上隆徳、山田耕太郎、中島 一、谷中俊裕  
2年担任 平山 基 3年担任 森山 卓郎  
4年担任 池添 純子 5年担任 森山 卓郎

### ■さらば友よ

上野 翔大

阿南高専は大学と同じで夏期休暇が普通の高校と比べて長いのと学生生活が5年もあるのが特長でした。とくに4、5年生の長期休暇では友人たちと一緒に遠出をしたり、修行に行ったりと多くの思い出をつくることができました。これは阿南高専の良い点であると思います。卒業後は県外に出ていく人も多いですが、この思い出を支えにしていき、またいつか友人たちと出掛けにいたらと思っています。

### ■落語

逢坂健太郎

高専で一番力を入れたのは落語です。毎週練習をして、月々に公演を行いました。覚えるのは大変でしたが、それでもおもしろかったです。僕が落語に力を入れ続けることができたのは、友達と一緒にであったからというのが大きいんです。友達と共に競い合い、成長していくということは、〈飽きない〉ということにおいても重要な要素だと思います。友達と共に部活をすることはもっと大事にしてよいことだと思います。

### ■自信

大平 祐生

私は陸上部に入部し、インターハイに出場するという目標を次第に意識し始めた。しかしラストシーズン序盤に故障により2ヶ月の離脱をしたことにより、積み上げてきたものはゼロとなった。そこで四国総体までの1ヶ月半、練習強度を上げトラックに何回も倒れこみながら這い上がり、全国の舞台にたどり着くことができた。私はこの1ヶ月半自分が逆境に耐えたことを誇りに思い、また自信としてこれからの人生に生かせたらと思う。

### ■デザコンにて

川西大樹

私が一番力を入れたこと、それは全国高等専門学校デザインコンペティション。通称「デザコン」です。私はこれに前期の授業の時から取り組み、予選を勝ち抜き本選に出場することができました。私たちが出場した部門は創造デザイン部門で、その時のお題が「地方創世×企画力」でした。私たちは「AR×お遍路」という案で本選に挑みました。賞こそ取れはしませんでした。あの本選の2日間は今でも良い思い出です。

### ■最高の友達

谷口 泰我

中学生の時、僕の同級生は4人しかいなかった。入学前は高専には同級生が100人以上できると知って、本当にやっていけるのかどうか不安になったのをよく覚えている。しかし、不安がっていたのがバカだと思えるほどに高専生活は楽しいものとなった。ハロウィンの日や体育大会の時にコスプレして参加したことなど、様々な楽しい思い出が蘇ってくる。最高のコスプレ友達に感謝を伝えたい。

### ■集大成

大和 想

「勇気は一瞬、後悔は一生」。友達が好きな言葉である。自分はこの言葉を常に意識して日々学生生活を送ってきた。自分から率先して責任のある仕事を行い、おもしろい学生生活になるよう努力した。しかし、同じ意識をもった友達がいないとこんな楽しい学生生活は送れなかった。この高専での5年間はまちがいなく自分にとって最高の思い出になった。親父、おかん、周りの友達、先輩後輩、みんなめっちゃ感謝。さんきゅうな！



構造設計工学専攻

## 贈る言葉

## つとめて、やむな

専攻科長 西野 精一

専攻科修了おめでとうございます。本科5年間の後の専攻科での2年間は、長期間のインターンシップ、海外留学、特別研究とその成果の学会発表、そして本年度は、本科の「共同教育」のグループワークのファシリテーションを行ったり、ドイツからの来日学生団と協同作業を行うなど、充実した日々を過ごしたことと思います。

皆さんは、専門知識と課題解決能力、コミュニケーション能力等のエンジニアの基礎を身につけ、本校の学習・教育到達目標を達成しました。また、専攻科で共に学んだ仲間や特別研究の指導を受けた先生方との絆を深めることができたことと思います。

最後に皆さんに「つとめて、やむな」という言葉を贈ります。これは、磁性鋼を開発し、鉄の神様と呼ばれた本多光太郎博士の言葉であり、私の出身小学校の校訓です。努力し続けることの大切さを謳っています。皆さんはこれから社会に出て様々な課題に直面することと思いますが、どんなときでも努力を忘れず真摯に課題に立ち向かうことを望みます。今後も、企業や大学院でさらに自己研鑽を積み、プロのエンジニアとして日本の発展に貢献してくれることを期待しています。

## 今後の活躍に期待

2MC担任 吉村 洋

専攻科構造設計工学専攻のご修了、おめでとうございます。この1年間、2MCの担任として、様々なことを学ばせていただきました。みなさんも専攻科の工学実験では機械工学のことだけでなく、建設工学関係の構造、コンクリート、土質、水理学などの一部を学んだことと思います。このことは、今後の仕事や学業において、きっと役に立ちます。物事を通り一遍ではなく、違った角度から検討する。困ったときのブレクスルーの鉄則です。みなさんは、すでにその経験をしてきているのです。人生は山あり、谷あり。上り坂もあれば、下り坂もあります。「まさか」という坂(?)もあるそうです。これからの人生では、いろいろなことが起こります。専攻科での工学実験のことなどを思い出し、様々なアプローチを試みてください。みなさんのご活躍、期待しております。

## 活躍を期待して

2ES担任 長谷川 竜生

2ESの皆さん、専攻科修了おめでとうございます。今、皆さんの心の中には、本校における7年間の思い出とこれからの将来に対する期待や不安が去来していることでしょう。これから皆さんは、まず社会の厳しさにぶち当たるでしょうが、そこで挫けず困難に打ち勝って下さい。皆さんが本校で身につけた力をもってすれば、十分な活躍ができると思います。どうぞ自信をもって積極的に仕事に取り組んでください。また、社会人にとってチャレンジ精神は大切です。学生時代のように何かしてくれるのを待つのではなく、積極的に行動できる人になって下さい。将来、技術立国日本を支える人材となることを期待します。最後になりましたが、皆さんの明るい将来と御多幸を心よりお祈りいたします。

## 2年生の言葉（構造設計工学専攻）

## ■探究心

2MC 表木 直斗

私は本科で機械工学を学び、専攻科へ進学しました。専攻科では、本科で学ぶことがなかった経験を専攻科で積むことができ、英語能力や他分野の工学知識が身につきました。短い2年間でしたが、技術者として飛躍的に成長できたと感じています。その反面、成長すればするほど自分がまだ何も知らないということに気がつき、私は大学院への進学を決めました。7年間も高専で工学を学んできましたが、勉学への意欲がさらに強くなりました。高専入学当初からの夢であった海外で活躍できるエンジニアになるために、今まで以上に勉学に励み、色々なことに挑戦しながら、技術者として研鑽していく日々を過ごしていきたいと考えています。自分の技術者人生にとって掛け替えのない経験を積ませてくれた阿南高専に心から感謝します。

## ■専攻科での経験を活かして

2MC 瀧根 翔馬

私は7年間という長い時間を阿南高専で過ごし、新しいことに挑戦し、多くの知識を得ました。特に専攻科では、1ヶ月間の台湾聯合大学での海外インターンシップを通して、自ら物事に取り組む自主性を身に付けました。積極的に現地の人たちと英語を通じて会話をすることで多くの友達もできました。特別研究ではなかなか自分の思うような結果が出ずに頭を抱えましたが、先生方の助けによりなんとか乗り切ってきました。私は春から社会人になりますが、社会人になってからは学生時代とは違い、自らの力で問題を解決できるようなエンジニアになります。

7年間、先生や友人など多くの方々の支えがあってここまで成長することができました。これまでお世話になったすべての方々に厚く感謝致します。ありがとうございました。

## 2年生の言葉（電気・制御システム工学専攻）

## ■今見えているもの

2ES 朝井加奈子

本科5年間、専攻科2年間、合計7年間を私はここ阿南高専で過ごしてきました。同じ空の下で学んではきましたが、目に見える景色はその都度変化していきました。期待と不安の入学式、皆とふざけあって皆で怒られた寮生活、インドネシアへの留学、ドイツでの作品展示、女子一人で迎えた専攻科への入学、就職活動…。私はこれから、学生から社会人へと変化しなければなりません。目に見える景色はどんなものになるのか、期待と不安でいっぱいです。社会人になってからもさらに変化は続いていくことでしょう。今を精一杯生きることが忘れず、恐れず、また新たな一歩を踏み出します。お世話になった先生方、本当にありがとうございました。

## ■専攻科での経験

2ES 本木 健斗

専攻科での2年間は非常に充実した毎日でした。ドイツへの長期インターンシップや海外での国際学会発表など、本科の時にはできなかった貴重な経験を得ることができました。現地での交流や専攻科の日々の生活で、文化やものごとの考え方の違いを深く実感し、自分を見つめ直すとても良い機会になりました。また、さまざまな新しいことにチャレンジすることで得られる経験の大切さを学びました。これを活かし、これからも今まで以上に邁進していきたいです。

最後に、7年間という長い間、お世話になったすべての方々に感謝します。



電気・制御システム工学専攻

## 海外インターンシップ感想

### 1ES 後藤 拓巳

I went to King' Mongkut's Institute of Technology, Ladkrabang(KMITL) for internship. I stayed there from Sep. 13 to Nov 23. I was an exchange student at the department of industrial engineering. I conducted research of material design. In addition, I was very interested in Thai culture as well as Thailand herself because of my first visit. Actually it was really hot and humid. But fortunately, I made a ton of friends, some of whom were my lab members. Some guys became my friends during my stay. I experienced culture, such as foods, language. I visited several historic places. However, in terms of foods, I do not prefer spicy so it was hard for me to eat it. I journeyed to Bangkok, Kanchanaburi, Amphawa, Phuket, Chiang mai, and Ayutthaya. This opportunity was absolutely fantastic memories in my life. I already plan to go again.

(留学先: タイ キングモンクット工科大学ラカバン校)



### 1ES 魁生 誠

I had a valuable experience on my internship in Taiwan. During this internship, I went to National United University and I participated in the research about optical interferometric sensor. At first, I was not confident that I could do the research, because it was difficult for me to communicate in English and I had little knowledge about the research topic. But the professor and laboratory's members taught me very kindly about my research. I was really happy to be assigned to this laboratory. I think that we had a lot of communication with my Taiwanese friends. We talked about culture, recommended food, J-pop music, famous singers and so on... I was surprised that they knew Japanese music well. Also, I visited many famous places. In Taipei trip, I visited Taipei 101 tower and Taipei zoo, large night market. I like the night market because I could get some delicious food. This trip is one of my most enjoyable experiences in my life.

(留学先: 台湾國立聯合大学)

### 1ES 神元 将太

I went to Singapore and stayed there for a month. The purpose of this internship was studying English and culture. English in Singapore was very fast for me. They can speak English, Chinese and Malay. So English that they speak has Chinese accent. It was challenging for me to understand and communicate with them. Singaporean food was very hot. It was hard to eat because I was not good at hot foods. Also I was surprised at the fare of train. It was very cheap, but price of a car is very expensive. This difference was impressive in this internship. I went to some famous places for sightseeing. For example, Universal Studio, Singapore Zoo, Marina Bay Sands, and Singapore Botanic Garden. They were very interesting and exciting. Specially, Marina Bay Sands was a very tall buildings. The sight from the top of this building was beautiful. I got good experiences. Thank you.

(留学先: シンガポール リパブリック ポリテクニク)

### 1ES 橋田 康矢

I went to Germany I had been longing to visit for many years. I was living there for approximately 3 months as an exchange student at Osnabrueck University of Applied Sciences. I felt excited to be there, but at the same time, I was sort of nervous about many things that would happen to me during the stay. Nevertheless, as I was living a life there, my fear was just fading away. As I had expected before, I had a wonderful time in Germany, such as meeting many people from various countries, experiencing many things I had never had, and feeling European atmosphere and so forth. Those things that you cannot see and experience easily in a daily life made me grown up somehow. The term was not enough for me to describe my experiences there. Time went by so fast. Now that I come to think of it, great memories just come up to my mind. All I can say is that I had an unparalleled time!!

(留学先: ドイツ オスナブルック工科大学)



## 台湾研修旅行について

本校で3回目となる台湾研修旅行が、9月4日から7日まで実施され、2、3年生全クラスの希望者30名が参加しました。本校との協定校である台湾國立聯合大学との学術交流、烏山頭風景区ダム見学、台湾企業のプレゼンテーション、班別自主研修、国立故宫博物院見学などを通して、学生たちは文化の違いと同時に日本とのつながりを体感し、充実した研修旅行となりました。

### ◆台湾研修旅行感想

#### 3M 折野 恭介

あの人気映画である「千と千尋の神隠し」のモデルとなった九份(きゅうふん)という場所に行ってきました。そこでは、人気の観光スポットと言われていることを納得するしかないというぐらいに人が沢山いて、人で溢れかえっていました。上から見ると、人ばかりで道が全く見えず、移動がとても困難なぐらいでした。ですが、それだけの人がいることにも納得ができるぐらいに、上から見た景色や建物は綺麗で、心に響くものがありました。さらに、暗くなってくると提灯に明かりが灯るので、感動すること間違いなしだと思います。なので、台湾に行くならぜひ、九份へ行くことをオススメします。



#### 3E 船越 健汰

台湾研修旅行で印象に残っていることの一つは友達と二人で台北市内の夜市を回ったことです。夜市では屋台が通りを埋め尽くし、とても賑やかです。そこで日本の文化を扱うお店に入ったのですが、そのお店の人がこちらに話しかけてきました。勿論そのお店の人は日本人ではなく、日本人からすれば決して上手とは言えないような日本語で話しかけてくれました。でも話が合えば嬉しそうに笑い、言葉の壁を越えて意思疎通をしようとする姿に心を打たれたのを覚えています。あの店にもう一度行ってみたいと感じています。



## 高専ロボコン2017 四国地区大会出場報告

機械コース 川畑 成之

本年度、高専ロボコン四国地区大会は2017年10月8日、高知県南国市立スポーツセンターにて開催されました。ロボコン誕生30周年記念大会となる本年度は、お互いの風船を割りあう「大江戸ロボット忍法帖」を競技テーマとして実施されました。両チームのロボットが直接ぶつかり合う迫力ある課題となっています。

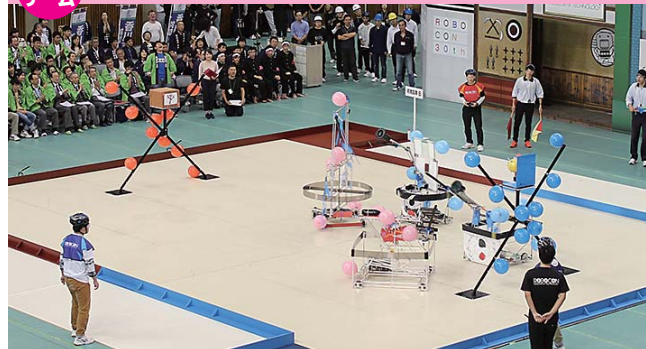
本校から出場した2チームを紹介します。

**A チーム** ロボット名 「noiSy (ノイジ)」



四国地区大会唯一、マスタースレープ機構を搭載したロボットで、操縦者の動きそのままに、ロボットアームを振りおろして相手の風船を割ります。また、高速ローラーによるボール射出機構も備え、競技開始直後の得点を狙います。

**B チーム** ロボット名 「てんてん」



敵陣に素早く近づき、X形に展開するアームを使って、一気にパーフェクト勝利を狙う、一発逆転型のロボットでした。

大会では両チーム、性質の異なるアイデアによって上位進出をうかがいました。最上級生が3年生という状況の中、昨年度のくやしさを胸に開発に取り組んできましたが、両チーム2回戦で敗退し、全国大会出場とはなりませんでしたが、Aチームは独創的な機構を実現したことを評価され、技術賞を受賞しました。昨年より一歩前進した今年度の結果は来年度に活かされることと思います。今後も皆様からの変わらぬご支援をいただきますようお願い申し上げます。



## 第28回 全国高専プログラミングコンテスト

情報コース 岡本 浩行



日立、富士通企業賞

第28回全国高専プログラミングコンテストは10月8～9日、山口県周南市（大島商船高専主管）で開催されました。今年は課題部門で1案、自由部門で2案がいずれもA評価で予選通過し、競技部門と3部門で全国出場しました。

「スポーツで切り拓く明るい社会」をテーマとする課題部門では「ブラシでこすれ「ヤー！」カーリング」を提案しました。ストーンに見立てたヤカンの投げ込みは画像認識で速度と位置を検出します。スweepを行うブラシに発電機を取り付けてブラシ摩擦に相当する値を取り込んでストーンのコントロールを行いました。またリンクを滑るストーンを床に投影して臨場感を出しました。

自由部門では怪我や急病で倒れた人を正確・迅速に救急隊に受け渡すことを支援するスマホアプリ「救&援：Q & A-救急救命支援システム-」を阿南市消防署に何度もヒアリングを行い実用性の高いアプリに仕上げました。また耳の不自由な方の来客対応を支援する「Safety Intercom ～安心来客システム～」は難聴者に何度もヒアリングを行うだけでなく実際に玄関に取り付けての実証実験を行って完成度を上げました。

本選では、学生達はプレゼンテーション、マニュアル審査、デモンストレーション審査の練習をぎりぎりまで重ねて奮闘しました。課題部門は臨場感が評価され富士通企業賞と学生相互評価での課題部門1位を獲得しました。自由部門の「Safety Intercom」は安全安心のテーマが評価され日立製作所企業賞を受賞しました。

競技部門ではプログラムを用いて枠にピースをはめ込む早さと正確さを競います。ヒントとしてグリッド情報やピースデータを使う選択肢が用意され、ヒントを使わないと高得点になるルールです。学生達は直前まで開発を続け、本選に臨みました。1回戦はあと少しでしたが、全てのピースを枠にはめ込むことができず敗退。翌日の敗者復活戦では、前日の課題に対応したプログラムを持ち込みましたが準決勝進出はできませんでした。しかしプログラムで解いた結果をプロジェクトで投射してピースをはめ込む時間を短縮するシステムを導入していたことで注目されました。

プロコンに出場した学生は貴重な経験ができ、来年こそはと意気込みを語ってくれています。平成30年度は全国プログラミングコンテストが阿南高専を主管校として徳島県で開催されます。上位入賞を目指してチャレンジしていきたいと思いますので、今後とも変わらぬ皆様からのご声援・ご協力をよろしくお願いします。



## 第14回 全国高等専門学校デザインコンペティション (デザコン2017 in 清流の国ぎふ)

建設コース 森山卓郎

12月2日(木)～3日(金)に第14回全国高等専門学校デザインコンペティション2017 (デザコン2017 in 清流の国ぎふ) が岐阜市のじゅうろくプラザで開催されました。岐阜は群雄割拠の戦国時代、天下に名を馳せた織田信長が治めた地でもあることから「デザインが天下を制する」をメインテーマとして行われ、本校からは構造デザイン部門と創造デザイン部門の2部門に参加しました。

構造デザイン部門(指導教員: 笹田先生)は、『Leaves』(5 C 関さん、畠山さん、川西君、勝瀬さん)と『武双』(5 C 上野君、逢坂君、岡田君)の2チームが参加しました。「そのけそのけ、王者が通る」をテーマに、銅線を用いた橋梁模型を製作し、耐荷性能や軽量かつ安心感の持てるデザインを競いました。今回の耐荷性能試験は重りを段階的に載荷した状態で砲弾に見立てた質量約5kgの砲丸を構造物の路面上を転がすというユニークな競技でした。参加した56作品中、『Leaves』は最終荷重段階まで成功し9位、『武双』は最終荷重段階で砲丸を転がす際に主構造の横倒れ変形で砲丸が途中で止まり38位でした。

創造デザイン部門(指導教員: 池添先生)は、『Cで創るコミュニティ』(4 C 海部君、2 C 白石君)が参加しました。「地産地“興”」をテーマに、地方創生を実現するための具体的なシステムの提案で競いました。審査前日はホテルで深夜まで準備や発表練習などを行い、予選49作品、本選10作品中、6位という成績を修めました。

来年度は、11月10日(木)～11日(金)に釧路市観光国際交流センターで開催予定です。今後とも、ご支援のほどよろしくお願いいたします。最後になりましたが、御協力いただいた本校教職員関係者ならびに後援会の皆様に御礼申し上げます。



創造デザイン部門



構造デザイン部門『Leaves』



構造デザイン部門『武双』

## 四国移動型&自律型ロボット トーナメント2017 (SMART2017) の開催

化学コース 釜野 勝  
情報コース 安野恵実子



競技会の様子

「四国移動型&自律型ロボットトーナメント2017(SMART2017)」(当番校: 徳島大学) が、9月10日(日)に徳島大学にて開催されました。今回は17回目を数え、今年より高校生の部門(U-18)が新しく設けられ、工業高校も参加できることとなりました。例年通り一般部門では徳島大学、徳島文理大学、本校から14チーム、U-18では徳島科学技術高校、つるぎ高校、津山高専、本校から12チーム、総勢78名が出場しました。

今年の競技課題はどちらの部門も「Mission ~ Transporter」でした。競技内容は2分間の競技時間内に、競技コートに配置された自陣コートのピン

ポン球をPOINT AREAに運び、その合計得点を競う競技でした。実際の競技はグループに分かれる予選リーグと各グループの上位が進出できる決勝トーナメントで構成され、競技を進めます。

今回、本校からは一般部門2チーム、U-18部門2チームの合計4チームが出場しました。それぞれの部門ごとに上位8チームが予選通過となります。その結果、本校からは唯一「Camellia2」が予選を勝ち抜き、決勝トーナメントに進出を決めることができましたが、惜しくも初戦で1点差という僅差で突破することができませんでした。

本校はここ数年、上位入賞を果たしておりましたが、世代交代により、非常に残念な結果となりました。次年度以降の活躍に期待したいと思います。今後ともご支援、ご声援の程、よろしくお願い申し上げます。

「眼前暗黒感」	櫻田雄一(4I)	櫻野元晴(4I)	坂野陽一(4I)
「Camellia2」	荒井誉麗(3E)	今田百香(3E)	赤松瑛夏(2Z)
「徳島の最終兵器」	廣永稜太(1-3)	栗原悠(1-3)	楠原拓己(2I)
「徳島のバラ」	坂本侑生(1-3)	梯翔伍(1-2)	柳田倫伸(2M)



本校参加学生



# 人権教育便り

創造技術工学科建設コース 松 保 重 之

## 本校の人権教育

阿南高専では「大学人権を基軸」として人権教育に取り組んでいます。具体的には、中学・高校人権と大学人権との融合により、実践的技術者に必須の技術者倫理への接続を行っていきます。

低学年では各教科学習における包含的な人権教育に加え、LHRにおいても人権学習を実施しています。専攻科では「技術者倫理」の授業等で、具体的な事例を通じて倫理的問題を考え、将来技術者として社会に貢献していく上で必要な工学的倫理観の育成を行っています。

## 本年度の活動紹介

### ♡身元調査お断りワッペン運動

本校は、阿南市人権教育協議会高校・高専・特別支援学校教育部会の一員として人権啓発活動の推進に取り組んでいます。その中心的活動が、「身元調査お断り」ワッペン運動です。今年度も9月30日にフジグラン阿南店で啓発活動を実施し、本校学生と教員も参加しました。

### ♡いじめ防止啓発パンフレットの作成と配布

本年度の新しい取り組みとして、いじめ防止啓発パンフレット「いじめのない学校づくりのために」を作成し、学生および保護者に配付しました。

### ♡図書館の改築に伴う人権が尊重される環境づくり

図書館に人権および学生相談に関する図書コーナーを設けて、学生相談室のカウンセラーおよび教員が選択した人権および学生相談に関する本を配架しています。留学生用コーナーも設けて異文化の理解や国際的な人権感覚の観点にも配慮しています。また、改築により車椅子でも通れるように本棚の間隔を広くとるようにしました。

### ♡阿南市「人権啓発標語・ポスター及び人権作文」への応募

毎年本校では、人権教育の一環として阿南市の人権啓発標語・ポスター及び人権作文へ学年単位で取り組んでいます。今年度は、人権啓発ポスターで1年4組の久保文香さんが特選となりました。また、入選作品の受賞者は以下の通りです（敬称略）。

### ♡人権啓発ポスター♡

1年3組 青木健太郎	1年3組 栗原 悠
1年4組 入江 菜都	1年4組 谷 綾乃
1年1組 太田 朱音	1年1組 谷 知篤
1年2組 川尻 睦月	1年3組 八原 美月

### ♡人権啓発作文♡

「無視するということ」	2M 井上 菜摘
「重み」	2C 奥村 公香
「自分を変えられるのは？」	2Z 佐久間裕己
「働く意義って何ですか」	2I 吉木 史香

### ♡人権啓発標語♡

「いじめは一瞬。心の傷は一生」	3M 近藤 優樹
「無くそう差別、増やそう笑顔」	3M 湯浅 心策
「あいつのいいとき、見つけよう。」	3M 杉本 一晟
「思いやり、その心が友を救う。」	3M 佐藤 良祐
「誰にでも 心があること 忘れるな」	3M 中尾 莉緒
「喜び、怒り、泣き、笑い、自由に生きる。私の人生」	3E 橋本 日菜子
「愛し合おう あなたとおなじ 人間だから」	3C ザ ヤ
「これが普通」 決めつけないで人の個性」	3C 蝶子 恵美
「抜け出そう 見ているだけの 自分から」	3C 竹本 宜輝



12月9日(土)、10日(日)の2日間、新居浜工業高等専門学校と新居浜市市民文化センターに於いて第39回四国地区高等専門学校総合文化祭が開催されました。

今年度は『椿〜TSUBAKI〜』がテーマになっており、文化系の学生に自分の部門に誇りを持って参加して欲しいという願いが込められています。前回に続き距離の離れた2会場での開催となりましたが、四国5高専6キャンパスから35部門に文化系クラブの学生が集いました。

本校からは、100名の学生が参加し、写真で5C関風花さんが優秀賞を受け、将棋では4I澤口葵伊くんが準優勝しました。また、各高専の学生会による交歓会、留学生や寮生会の交流会も開催されました。



表彰式



ストリートダンス



演劇



軽音楽



茶道



吹奏楽

## 第12回蒼阿祭を終えて

蒼阿祭執行委員長 4I 森 大 輝

阿南高専の毎年恒例の行事となりました蒼阿祭ですが、今年で第12回を迎えることができました。昨年度の蒼阿祭では、お菓子投げやビンゴ大会などのイベントを実施し例年になく盛り上がりを見せました。今年度はそれを超える蒼阿祭を目指し、執行部一同、準備に励んできました。

今年度の蒼阿祭で注目していただきたかった大きなイベントは「クイズ大会」です。クイズ大会は今年新しく始めたイベントで予想以上の盛り上がりを見せました。またペーパー&空き缶タワーや食べ物感謝祭などの新イベントもとても高評価でした。

他にも、学生自身が日々学んでいる各コースの専門展示や、各クラス・部活動による模擬店、茶道部や演劇部・軽音部などの文化部による展示や公演などの様々なイベントもありましたが、どれも大盛況でした。

最後になりましたが蒼阿祭にご来場くださった方々や、蒼阿祭を盛り上げるために頑張ってくださった学生やゲストの皆様、準備・運営の手助けをしてくださった先生方や学生課の方々には、深く感謝しております。ありがとうございました。



正面ゲート



模擬店



落語



建設コース専門展示



お菓子投げ

## やさしい嘘は存在するのか

2年機械コース 井上 菜摘

小学生の道徳の時間ではテンプレートのように「人に嘘をついてはいけない」と教わった。なぜなら、人を騙すことになるからだそう。

ある日、知らない場所で女の子が殺された。優しい男性のフリをした殺人鬼が自宅を訪問し、招き入れた被害者に暴行を加えた後、殺害。朝の会で先生は連絡用プリントを淡々と読み上げ、最後に「みんなも家で一人の時はいないって嘘をつくのよ。」と付け加えた。私は首を傾げた。

やさしい嘘と形容されるように、時に自分や相手を傷付けない為に嘘が、この世には存在する。やさしい嘘は許されないものだろうか。いや、必要なものである。真実を知らない方が、幸せに感じることもあるらしい。しかし、人々は、自らの幸せの尺度で嘘をつくことをやさしいことだと言い張るのに、真実を知った相手が傷付いたならば手のひらを返して「なんで嘘なんかついたんだ」と狼少年を責め立てるのだ。

「許される嘘」が存在することを知ったのは、この小説と出会ってからだ。4つの恋愛短編が書き綴られたこの小説には、とある共通点がある。命の恩人に偽装カップルを演じてくれと頼まれる男子高校生。好きな人を試すため、海に溺れたフリで彼女を殺した少年。覆面作家の国語教師に、顔面にコンプレックスを抱き、偽りの仮面で学校生活を送る少女。そう、全ての話には「嘘」が関連している。「恋がこんなにも苦しいのなら、

最初から知らなければよかった。」登場人物は口を揃えてこう言う。それなのに彼らは、人を愛して初めて、胸を締め付けるほどの切なさ、人を想ってつくやさしい嘘の存在を知ってしまうのだ。

例えば誰かに恋をしたとして、その人には別の好きな人がいるとする。もしも自分に恋愛相談をしてきたら。私はきっと、好きな気持ちを隠して、ただひたすらに背中を押すだろう。理由は、そうすることで好きな人に少しでも話しかけてもらえるとか、浅はかなものかもしれない。それでも、相手を困らせたくはない一心でついたこの嘘は、やさしい嘘に含まれていてほしい。

嘘というのは、時に人を臆病にさせる。しかしだからこそ、人は誰かを理解したい、誰かと分かり合いたいと考え、歩み寄ろうとするのではないだろうか。嘘が存在することで真実をより大切に思うことが出来たなら、私は嘘は人の心を豊かにするために必要であると思う。自己満足でなく、相手を傷付ける真実を隠してついたやさしい嘘は、きっと正義として存在するべきなのだ。

- 書名：百瀬、こっちを向いて。
- 著者名：中田永一
- 出版社：祥伝社

## 鏡に映らぬように

2年情報コース 正本 佳那

「恥」というものがこの愚かな青年に永遠にまわりつくのではないかと感じてしまった。彼にとっての恥は私の想像を遥かに超え、私にとっての恥は、彼には恥でも何でもなく本性を隠すための方法にすぎなかった。つまり、私にとっての恥は彼にとっての「お道化」であり、彼にとっての恥は自分の本性を他人に知られることだったのではないかと感じた。

この愚かな青年、葉蔵は幼いころから人間の営みを理解できずに自分との違いに恐怖しお道化てばかりいた。しかし、大人になると共に様々な人と出会い多くの恥を経験した。彼にとっての恥とは、何なのか。それは、自分の本性を他人に知られることだ。という風に感じたのは彼の中学時代のエピソードだった。それは彼の初めての恥である。皆の人気者だった彼が、同じクラスの一人にお道化を演技だと気づかれたことだ。彼にとってそれは初めての出来事で冷静だったときと一変し不安と恐怖ばかり考えてしまっていた。もし私が葉蔵と同じ状況に

なったとき不安や恐怖よりも自分の本性に気づいてくれて嬉しいと感じると思う。大人になった彼は好きな人ができた。しかし、自分の気持ちに気づいたとき自分自身に恐怖を感じたかのように思われた。何度もの恥を感じたときの彼の心は壁全体鏡張りの部屋に閉じ込められたのではないだろうか。お道化という包み紙で覆われていた心が一瞬でどこを見ても自分の姿が分かるようになったとき、彼は恥を感じるのだと思った。

私は最初から最後まで彼のとった行動全てを理解することはできなかった。むしろ、彼のような人生を送りたくない強く思った。しかし唯一考え方が変わったのは恥である。人間を理解できないと言っていた彼が恥を感じたときが一番人間らしいと思ったからである。

- 書名：人間失格
- 著者名：太宰 治
- 出版社：集英社

## 忘れられない味

2年化学コース 松浦 由実

これまで、母の作ったカレーを何度も食べた。14年後、私は母の味を覚えているだろうか。

14年前に起きた両親殺害事件が時効直前になり解決の方向に進んでいく。世間を敵視しながら生活を送っていた子供たちは料理人の父が得意としたハヤシライスを引き継いで真っ当に生きていくことを決意した。

今までに母の味というのを感じたことがあるだろうか？ましてや14年も月日が経っているにもかかわらずこれは母の味だと言い当てることができるというのは、そうそうないことだ。私は寮生活を始めて1年以上が経っている。週末実家に帰り、出されたご飯を食べても「母の味だ…」なんて噛み締めたことなど1度もない。それはまだ1年という短い期間だからかもしれない。唯一無性に食べたくなるのは、母が作るカレーだ。野菜をふんだんに使っており、それはまるで宝石のように輝いているように見える。食べたしたらなくなるまで一言も話さないことも多々ある。それほど母の作るカレーは美味しいのだ。

この本に出てくる子供たちも同じだろうと考えた。だから父のハヤシライスだと言い当てることができたのであろう。ろくな生き方をしていなかった子供たちにとっては久しぶりに食べたハヤシライスは、無言の親からの叱りだったのかもしれない。親は子供に真っ当な人間になってもらいたいものである。この世の中に息子や娘が犯罪に手を伸ばしているのにもかかわらず放っておく親などいるものだろうか。いや、ほとんどの親は放置したりしない。きっと止めるように促すだろう。

子供というのは親からすればいくつになっても子供であり、それは死んでも変わらないことだ。じゃあ1つぐらい自分たちが親だという印を、いつでも表すことができる印をこの世に残していくのもいいじゃないか。

- 書名：流星の絆
- 著者名：東野圭吾
- 出版社：講談社



## 図書館からの推薦図書

平成29年度の新着図書から紹介します。

### 『何度も読みたい広告コピー』

パイインターナショナル 著

テレビで、街で、雑誌で、日々の生活の中で広告を見ない日はないと思います。数ある広告の中で、心に残っているものはありますか？広告が気になって商品を買った、遊びに行った、それぞれに沢山の思い出があるかもしれません。なんとなくフレーズだけが気に入っている、というものもあるかもしれません。

たった数行の言葉に、商品も思いも詰め込んで、全部伝えたい。そんな広告コピーを集めています。ものづくりに通ずるなにかが、きっと見つかるはずです。

閲覧室：674||P15

### 『字が汚い！』

新保信長 著

著者の字へのコンプレックスからはじまり、いかに分かりやすい字が書けるようになるか模索する過程を書いた本です。美文字を目指すため、テキストで学んだり、カルチャースクールに通ったり、インタビューしたりと、字に関する話が満載で、色々な字の例の写真も豊富で読みやすいです。

見栄えよく書けるようになりたいと思える一冊なので、ぜひ読んでみてください。

\* 閲覧室：728.9||Sh59

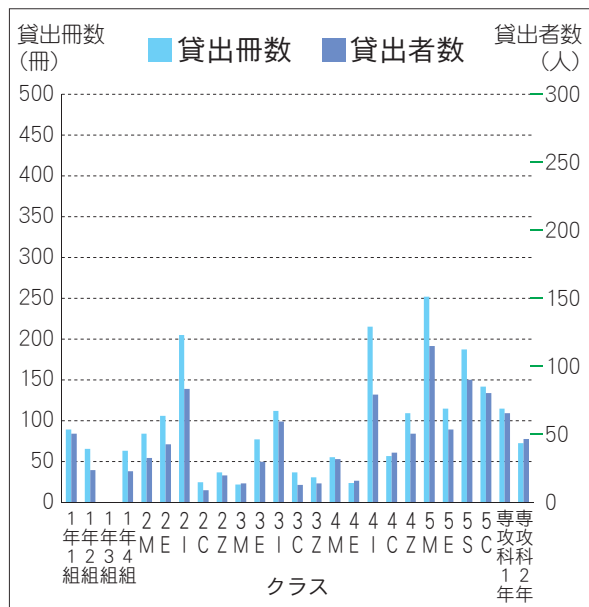


## 図書館利用統計〔平成29年度4月～12月期〕

### ◎図書貸出ランキング（上位10冊）

順位	回数	書名
1	37	TOEICテスト新公式問題集 Vol. 6
2	27	TOEICテスト公式問題集：新形式問題対応編
3	24	TOEICテスト公式問題で学ぶボキャブラリー
4	18	編入数学過去問特訓：大学編入試験対策
5	17	TOEICテスト新公式問題集 Vol. 5
6	16	工業英検 3級クリア
7	14	工業英検 3級対策
8	12	工業英検 3級問題集 2014年版
9	11	編入数学入門：講義と演習
9	11	はじめての新形式TOEICテストこの1冊で650点
9	11	工業英検3級問題集 2017年版

### ◎クラス別図書貸出状況



## 図書館からのお知らせ



**開館時間**

- 平日 9時～19時（休業期間中は、9時～17時）
- 土曜日 11時～17時（休業期間中は、休館）
- 日曜日・祝日 休館

★ 図書館は保護者の方、一般の方もご利用になれます。  
（貸出を希望される場合は、身分証明書（運転免許証など）をご持参ください。）

**貸出冊数** 5冊まで（休業期間中は、10冊まで）

**貸出期間** 15日間（休業期間中は、延長）

館内資料の文献複写（著作権法の範囲内での有料複写）や、DVDコーナーもご利用になれます。  
詳しくは図書館までお問い合わせください。

**TEL** 0884-23-7106 **E-mail** tosho@anan-nct.ac.jp

★ ホームページにて、蔵書検索や利用案内、図書館開館カレンダーなどご利用いただけます。

**URL** [http://www.anan-nct.ac.jp/facility\\_guide/library/](http://www.anan-nct.ac.jp/facility_guide/library/)

### 投書箱

図書館では、学生のみなさんのリクエストを受け付けています。  
読みたい本や、学習や研究で使う本などがありましたら、図書館閲覧室の投書箱へ投函してください。



# 各種大会報告

日付	団体・個人	部 門	賞	クラス	氏 名
<b>徳島県テニス協会優秀選手賞</b>					
H29.9.1	個 人			3 I	多田 魁 登
				2 Z	今川 雄 斗
				3 M	佐藤 良 祐
				3 M	柏木 恵 太
				3 E	梶野 晃 生
				3 C	本田 遼 馬
				3 M	瀧根 風 香
				2 Z	森吉瑛里子
<b>2nd STI-GIGAKU 2017 Conference</b>					
H29.10.6	個 人	ベストポスター賞		5 M	永尾 佳 弥
<b>第28回プログラミングコンテスト</b>					
H29.10.9	団 体	課題部門 「ブラシでこすれ「ヤー」カーリング」 富士通企業賞&学生相互評価課題部門1位		3 E	日村 怜 史
				2 I	岸上 公 彌
				3 I	村上 滉 樹
				3 I	中津 佑 介
				4 I	鈴江 大 樹
H29.10.9	団 体	自由部門 「Safety Intercom」 日立製作所企業賞		4 I	谷口 響
				3 I	狩野 真 毅
				2 I	中道 翼
				2 I	松浦 圭 吾
				2 I	栗本 海 音
<b>第33回阿南市会長杯バドミントン大会</b>					
H29.10.15	団 体	男子団体二部	準優勝	2 C	以西 竜 磨
				2 C	松本 礼 央
				2 M	久保 郁 弥
				2 I	彦上 諒
<b>徳島県高等学校新人テニス大会</b>					
H29.10.15	個 人	女子シングルス	第3位	2 Z	森吉瑛里子
<b>阿南市体育祭 弓道競技</b>					
H29.10.15	団 体	団体 阿南高専H	優勝	3 E	荒井 誉 麗
				5 E	池下 大 翔
				4 C	遠山 秀
H29.10.15	団 体	団体 阿南高専A	準優勝	2 I	山本 弦 太
				2 Z	西岡 巧
				2 I	坂東 璃 音
H29.10.15	個 人	男子	優勝	5 E	池下 大 翔
			第4位	4 C	遠山 秀
			第5位	2 I	坂東 璃 音
			第9位	2 Z	西岡 巧
		女子	優勝	4 C	折野 未 歩
<b>eko-MASTER GRAND PRIX 2017</b>					
H29.11.7	団 体	団体 テラロッサ	2位	3 Z	桑原 那 弥
				3 Z	四宮 佑 太
				3 Z	浜中 未 有
<b>みんなで作ろう水素社会!!アイデアコンクール 水素エネルギー工作部門</b>					
H29.11.14	団 体	団体 情報コース log327	最優秀賞	3 I	狩野 真 毅
				3 I	中津 佑 介
				3 I	橋本 綾 斗
				3 I	村上 滉 樹

日付	団体・個人	部 門	賞	クラス	氏 名
<b>徳島県卓球優秀選手賞</b>					
H29.11.18	個 人		優秀選手賞	3 Z	西条 賢 人
<b>平成29年度 阿南市体育祭</b>					
H29.12.9	個 人	硬式テニスの部	優勝	3 M	佐藤 良 祐
<b>第39回四国地区高等専門学校総合文化祭</b>					
H29.12.10	個 人	英語スピーチ部門	3位	3 I	小林 七 海
		プレゼンテーションの部	5位	4 I	川崎 稜 太
		書道部門	佳作	3 E	橋本日菜子
		写真部門	優秀賞	5 C	関 風 花
			佳作	5 E	パ ル ム
			佳作	3 I	初 汐 一 真
		将棋部門	個人戦準優勝	4 I	澤 口 葵 伊
<b>平成29年度 阿南市人権啓発ポスター</b>					
H29.12.10	個 人	人権啓発ポスター	特選	1-4	久保 文 香
			入選	1-3	青木健太郎
				1-4	入江 菜 都
				1-1	太田 朱 音
				1-2	川尻 睦 月
				1-3	栗原 悠
				1-4	谷 綾 乃
				1-1	谷 知 篤
				1-3	八原 美 月
<b>平成29年度 阿南市人権啓発作文</b>					
H29.12.10	個 人	人権啓発作文	入選	2 M	井上 菜 摘
				2 C	奥村 公 香
				2 Z	佐久間裕己
				2 I	吉木 史 香
<b>平成29年度 阿南市人権啓発標語</b>					
H29.12.10	個 人	人権啓発標語	入選	3 M	近藤 優 樹
				3 M	湯浅 心 策
				3 M	杉本 一 晟
				3 M	佐藤 良 祐
				3 M	中尾 莉 緒
				3 E	橋本日菜子
				3 C	ザ ヤ
				3 C	蝶子 恵 美
				3 C	竹本 宜 輝
<b>2017徳島県冬季ジュニアテニストーナメント大会</b>					
H29.12.16	個 人	U17女子ダブルス	3位	2 Z	森吉瑛里子
				2 M	加藤 唯 菜
H29.12.24	個 人	U17女子シングルス	3位	2 Z	森吉瑛里子
<b>第61回日本学生科学賞</b>					
H29.12.27	団 体	干潟巻き貝の不思議な垂直移動	知事賞	3 Z	四宮 佑 太
				3 Z	大西 優
				3 Z	北野 寧々
				3 Z	桑原 那 弥
				3 Z	浜中 未 有



## 編集後記

高専便り115号をお送りします。  
今号は卒業・修了特集号です。  
卒業・終了された皆様、おめでとうございます。  
4月からの新生活頑張ってください。

## 平成29年度 広報情報室高専便り編集委員

山田耕太郎（一般教養） 中島 一（一般教養）  
西本浩司（機械コース） 松浦史法（機械コース）

阿南工業高等専門学校 学生課

電話 (0884) 23-7100

〒774-0017 徳島県阿南市見能林町青木265

E-mail : gakusei@anan-nct.ac.jp